

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 005	提案機関名 畜産課
要望問題名 多産系母豚の生産と産子数の多い母豚の能力を発揮させるための飼養管理技術の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 全国的に、大規模養豚経営を中心に繁殖性のよい海外種豚の導入が進んでおり、県内の一部生産者にも海外の輸入凍結精液を利用して、多産系母豚の生産に取り組む事例が見られている。繁殖能力の向上は養豚経営に不可欠な課題で、国や県による系統造成で育種改良が実施され、畜産技術センターでは系統豚「ユメカナエル」の維持・配布に取り組んでいる。しかし、海外と同レベルの繁殖能力を求め、国際競争力の強化を図るためには、これまでのような閉鎖型の系統造成手法だけでは、スピーディーで効率的な繁殖形質の改良は困難なことから、開放型の導入も含めた改良手法の見直しも必要となっている。 そのため、①海外の輸入凍結精液等を利用した多産系母豚の生産技術について。また、産子数の多い母豚の能力を発揮させるためには、きめ細かい、高い管理技術が必要とされることから、②多産系の母豚を活かすための飼養管理技術（哺乳開始頭数が哺乳中の事故率・発育に及ぼす影響、難産・圧死の防止、妊娠期・授乳期の母豚への補助栄養剤の利用効果等）について検討をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	系統豚を利用した高品質豚肉生産技術の確立 (H15～32)		
対応の内容等	ご指摘のとおり、多産系母豚の利用については、県内で一部に利用している生産者もおおり、まだ取り組み事例は少ないですが、今後、活用されていく重要な技術と考えます。民間の持つ優良多産系種豚の情報収集に努め、種豚の精液等を用いて「ユメカナエル」との交配により、本県での飼養に適した改良型多産系種豚の開発に取り組んでいきます。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			